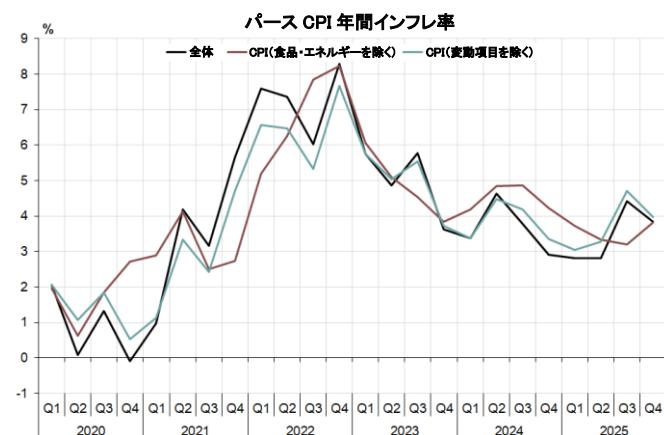
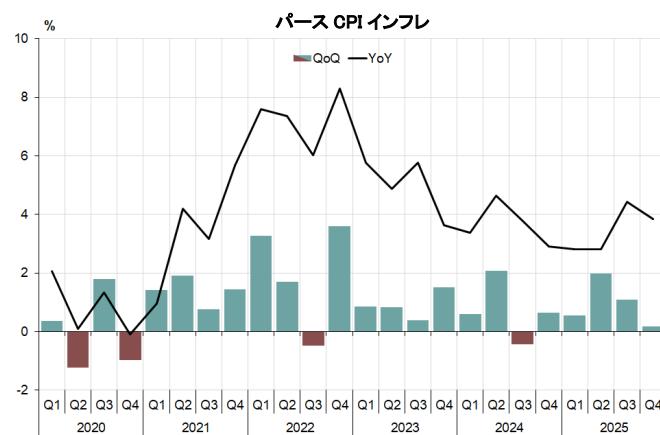


## 西オーストラリア州関連データハイライト

- 2月初旬、RBAは政策金利目標を25ベーシスポイント引き上げて3.85%とした。
- パース CPIは第4四半期にすべての州都で最低の0.2%上昇となり、通年で3.9%上昇となった。
- 西オーストラリア州の雇用者数は12月に26,200人増と大きく伸びた一方、失業率は3.9%に低下した。
- パースの住宅価格は1月に2.0%上昇したが、12月の住宅用建物建設許可件数は1.9%減であった。

## パース CPI – 第4四半期および2025年12月

- 第4四半期、オーストラリア統計局(ABS)は総合CPIの発表頻度を上げて毎月の発表としたが、州都を含む四半期データの発表を最低6四半期は続けるとしている。
- 最新のCPIデータによれば、パースCPIは第4四半期に0.2%上昇し、通年で3.9%上昇となった。四半期の伸びとしてはすべてのオーストラリア州都の中で最も低く、これは10月および11月に新たに実施された電力料金救済措置に起因する電力料金自己負担額の減少が主因であった。
- 一方、電力料金救済措置は1年前より小規模で、第3四半期の4.5%を下回ったもののCPI年間インフレ率を上昇させた。
- 月次CPIでは、パースCPIは12月に前月比で0.7%、前年同月比で4.4%上昇した。月次の伸びもすべての州都で最も低かったが、これも西オーストラリア州における電力料金救済措置実施のタイミングから年率では全国の3.8%をわずかに上回った。
- エネルギー価格は前年同月比で増加し、同6.2%増の家賃、同5.1%増の新築住宅費用と相まって、12月の住宅費用は同8.6%増となった。さらに、アルコールおよびタバコも同5.7%増、教育も同5.6%増と堅調な伸びを見せた。年間の価格上昇が最も小さかったのは通信であった(同1.1%増)。
- 特に電力料金を除く基調的インフレの測定に使用される食品およびエネルギーを除外したCPI年間インフレ率は12月にわずか0.2パーセンテージポイント上昇で3.9%となり、第4四半期平均は3.8%であった。一方、電力料金以外の変動項目は除外する年間の基調的インフレ測定では12月に4.5%、第4四半期平均は4.0%であった(11月は2.9%、第3四半期平均は4.7%)。



出典: ABS

オーストラリア金利(%)			為替と株価		
RBA 政策金利目標	3.60	(0 pt)	AUD/USD	0.6964	(↑4.4%)
90日銀行手形	3.84	(↑10 pt)	AUD/JPY	107.76	(↑3.1%)
連邦政府3年国債	4.27	(↑13 pt)			
連邦政府10年国債	4.81	(↑7 pt)	ASX200	8869	(↑155 pt)

表中数値の基準日は2026年1月30日。

## 市場概況

- 予想されたとおり、RBA 金融政策会合は2月3日の会合で政策金利目標を25ベーシスポイント引き上げて3.85%とした。
- オーストラリア国債利回りは1月に急騰したが、これは引き続きインフレがRBAの目標レンジを上回り労働市場状況は堅調であることが確認された一連の12月度国内経済データを受けた政策金利引上げ期待の高まりを反映したものであった。
- WATC 債券利回りも1月に上昇したが、それは短中期利回りのみで、長期利回りはほとんど変化がなかった。WATC 利回りと国債利回りのスプレッドは1月にわずかに縮小し、他月と比較しても依然小さかった。
- 豪ドルは米ドル(4.4%)と日本円(3.1%)両方に対して急上昇した。AUD/USDは2022年以来初めて一時的に70米セントを超えたものの、月末に向けて下落した。AUD/JPYは、2024年中盤に記録した数十年ぶりの高値をわずか0.7%下回る水準まで上昇した。両為替レートの動きは、豪ドルの強さのみならず米ドルおよび日本円の弱さも反映したものであった。
- ASX200は1月に2ヶ月連続の上昇(1.8%)を見せ、一部のコモディティ価格の世界的上昇を受けたエネルギーおよび素材部門の大幅上昇によって米国市場をアウトパフォームした。

WATC 指標銘柄債券の利回り			
満期	利回り 2026年1月30日	AGS スプレッド 2026年1月30日	
2026年10月21日	4.08	(↑16 pt)	0 pt
2027年10月21日	4.28	(↑15 pt)	+8 pt
2028年7月20日	4.34	(↑10 pt)	+14 pt
2029年7月24日	4.45	(↑7 pt)	+18 pt
2030年10月22日	4.59	(↑5 pt)	+21 pt
2031年10月22日	4.70	(↑3 pt)	+22 pt
2032年7月21日	4.78	(↑2 pt)	+26 pt
2033年7月20日	4.90	(0 pt)	+31 pt
2034年10月24日	5.12	(0 pt)	+38 pt
2035年10月24日	5.16	(↓2 pt)	+35 pt
2037年10月21日	5.37	(↓5 pt)	+50 pt
2041年7月23日	5.65	(0 pt)	+55 pt

